

## 平成 25 年度岩手県立病院等事業運営方針（案）

平成 21 年度から平成 25 年度までを計画期間とする現行の経営計画では、次の 4 つの基本方針を掲げ、県民への良質な医療の持続的な提供のため、様々な取組を進めているところです。

## &lt;&lt; 基本方針 &gt;&gt;

<u>心のかよう、患者中心の医療の展開</u>	<u>&lt; 患者本位 &gt;</u>
<u>職員が働きがいを持つ職場づくり</u>	<u>&lt; 職員重視 &gt;</u>
<u>健全経営に向けた経営の効率化</u>	<u>&lt; 不断の改革改善 &gt;</u>
<u>地域一体となった医療の確保</u>	<u>&lt; 地域との協働 &gt;</u>

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波により、県立病院は沿岸部を中心に多大な被害を受けたところであり、被災した病院については、仮設診療施設の整備等により、診療機能の回復を図ったところです。

平成 24 年度においては、被災した大東病院の増改築工事の設計を行ったほか、沿岸部の被災 3 病院（高田病院・大槌病院・山田病院）の整備方針を検討するなど、再建に向けた取組を進めたほか、医師の確保や医師の業務負担軽減に向けた取組、SPD（物流管理システム）の全病院での導入、診療報酬改定への対応などの取組を進めてきました。

平成 25 年度は、大東病院の増改築工事の実施や沿岸部被災 3 病院の設計着手など、再建に向けた具体的な取組を加速するとともに、「岩手県立病院等の新しい経営計画」の最終年度として、計画に基づく重点取組事項の取組を着実に進めることにより、県立病院が県民に信頼され、良質な医療を持続的に提供できるよう、全職員が一丸となって取り組んでいきます。

## ■■ 平成 25 年度に最重点として取り組む事項 ■■

- ◇ 東日本大震災津波からの復旧・復興に向けた取組を加速します。
  - ・ 被災した病院（高田、大槌、山田、大東）の再建に向けた取組 等
- ◇ 県立病院間の役割分担の明確化と特色ある医療の提供に努めます。
  - ・ 入院患者数の動向等に対応した病床規模適正化の推進 等
- ◇ 良質な医療を提供できる環境の整備に努めます。
  - ・ 災害拠点病院へのヘリポートの整備（大船渡・久慈）、電子カルテシステムの機能強化 等
- ◇ 医師不足の解消と現在勤務している医師の定着支援に取り組めます。
  - ・ 医師招聘活動の継続実施、臨床研修制度の充実、医師の業務負担の軽減 等
- ◇ 職員の資質の向上と働きやすい環境の整備に取り組めます。
  - ・ 各種専門資格職員の育成、職員満足度調査の実施 等
- ◇ 収益の確保と費用の効率的執行に努め、経営改善に向けた取組を進めます。
  - ・ 診療報酬改定への対応、DPC等収支分析、材料費の抑制 等